



見て、触れて、体験して 雪遊びを満喫

2月1日㊥、護摩壇山周辺で、紀南地方では珍しい雪のイベント『南国紀州の雪あそび』が開催されました。参加者は、雪だるま作りやソリ遊び、雪の上を歩いても沈みにくいスノーシューを履いてのスノーシューイング体験、雪の中に埋められたカラーボールを探す宝探しなどをして楽しみました。

参加されたご家族は「なかなか雪で遊べる機会がなく、今回のように近場で遊べたので良かったです。子供は雪で遊ぶのが初めてだったので、とても楽しそうでした」と話してくれました。



2月2日㊦、紀南文化会館で15年ぶり2回目となる『太鼓フェスティバル』が開催され、5団体が演奏しました。公演の締めくくりには、初めて合同演奏を披露し、観客を魅了しました。



1月23日㊧、城山台で地元シェフや生産者が地元産品を持ち寄り、おむすびのメニューを考えました。市街地活性化施設「tanabe en+」内に計画しているカフェで提供されます。

笑顔が彩るまちのたより みんなの彩時記

ジュニア駅伝 田辺市が3回目の優勝

2月16日㊨、和歌山市で『第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会』が開催されました。オープンチームを含め45チームの選手たちが雨の中、最後まで走り抜けました。田辺市チームは、1区から先頭を走り、最後まで抜かれることなく、1時間9分で見事に1位でゴール。

個人成績では、合川歩輝選手（1区、3.0km）が9分10秒、大江咲歩選手（2区、1.7km）が6分27秒、恵中春斗選手（5区、2.2km）が6分32秒、坂本鶴月選手（6区、1.4km）が4分57秒で区間1位となりました。



2月3日㊩、県立情報交流センター Big-U で首都圏企業の社員が、たなべ未来創造塾修了生と地域課題を解決するビジネスプランを協働で立案し、その成果を発表しました。



2月2日㊦、スポーツパークで「田辺市まちづくり市民カレッジ+（プラス）」の第3回講座が開催され、立戸自主防災会と稲成町下村区活性化委員会の事例発表や講義が行われました。